

議会

No. 194



議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@kijimadaira.jp

発行：木島平村議会

編集：議会だより編集委員会



平成27年度決算の起立採決の様子

回定例会 議案を審議 9月16日まで

平成28年9月第3回定例会が、9月1日から9月16日まで、16日間の会期で開かれました。

今議会では、専決処分の承認(2件)ほか、平成27年度決算(12件)、平成28年度補正予算案(11件)、条例案(9件)、事件案(2件)、請願(2件)の審議、及び人事案(1件)への同意を行いました。

平成27年度 決算審査

初日の本会議で、渡邊吉基代表監査委員から「平成27年度一般会計及び特別会計」、計12会計の決算に対する監査報告がありました。

全議員による「決算審査特別委員会」(江田宏子委員長)が2日間の日程で開かれ、審査の結果、最終日の本会議において、賛成多数で全会計を認定しました。

また、11項目の審査意見をまとめました。(27ページ)

平成28年9月第3回定例会のあらまし

▼開会日(9月1日) 会期の決定、村長からの行政報告の後、専決処分(2件)の承認を行いました。また、条例案・補正予算案・27年度決算の認定案が上程され、提案理由の説明、質疑等を経て、請願2件とともに、所管の委員会へ付託しました。

また、平成27年度決算の監査報告を受けた後、「決算審査特別委員会を設置して審議すること」を決定し、委員長を選出しました。

▼決算審査特別委員会(9月5日・6日) 平成27年度決算について、各課から説明を受け、質疑、審議等を行いました。

▼一般質問(9月12日・13日) 7人の議員が、村政のさまざまな課題について質問しました。(各議員の質問項目は後述)

▼常任委員会(9月14日・15日) 各委員会で、付託された補正予算案、条例案、事件案、請願・陳情を審議しました。

▼全員協議会(9月1日・9月16日) 村から議会への事業等の説明・報告及び質疑のほか、議員間での連絡・報告・協議等を行いました。

▼閉会日・採決(9月16日) 本会議において、各委員長から付託議案等の委員会審査の報告を行い、採決の結果、全て原案のとおり可決、認定。また、同意案件(人事)1件が上程され、同意となりました。



決算の監査報告をする渡邊吉基代表監査委員

平成28年9月第3 平成27年度決算など39

9月1日から

決算に対する監査からの意見

(9月1日 本会議「監査報告」より主旨抜粋)

- 一般会計、特別会計ともに実質単年度収支が黒字であった。不用額が出ている事務事業については、その内容を再検証し対応を図られたい。
- 村税の不納欠損の要因を再検証し、税負担の公平を欠くことのないよう努められたい。
- 村税及び料金等における滞納金の徴収にあたっては、引き続き全力で努められたい。
- コミュニティ助成事業の各区からの申請の選定にあたっては、選定基準を設け、それに基づいた選定結果を公表されたい。
- 指定管理者の財務状況を検証し、著しい業績悪化により存続が困難と認められる場合は、契約期間内の契約取消しができる等の条項を契約書に盛り込まれたい。
- 奨学資金の貸付け申込みにあたり、電話等で申請者本人及び保証人であることの確認を十分に行うこと。未成年である場合には、保護者の了解を得てから慎重に確認を行うこと。
- 農村交流館の宿泊施設については、利用実績及び維持管理に関して非効率な部分が見受けられるとともに民業圧迫が懸念されるので、利用目的を含めて再検討されたい。
- 農村木島平(株)の道の駅ファームス木島平の指定管理に関し、第三セクターから完全民間会社となった時点で、再審査が行われているか検証されたい。
- 農業振興公社から農村木島平(株)への米の販売、新鮮屋の営業、特産加工品の販売などの業務移管の契約に関し、農業振興公社の理事会、評議員会での審議及び意思決定を経ているか検証されたい。

「6月議会の審査意見」に対する村の対応

(主旨抜粋)

平成28年6月第2回議会定例会で各委員会から出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。

(9月1日 本会議「諸般の報告」より)

総務産業常任委員会関係

- 想定外の災害が頻発する中、役場庁舎の建て替えは喫緊の課題である。既存施設の活用だけでなく、新たな庁舎の建設も早急に検討されたい。
【対応】 役場庁舎の建て替えにあたり、村の財政状況等も考慮しながら、既存施設の活用と新たな施設建設の両面で検討を進めている。
村民の皆さんの意見をお聞きしながら、できるだけ早い時期に村としての考えを決定していく。
- 歩道の設置については、予定されている全線の早期完成に向け、引き続き努力されるとともに、当面の間、安全な通学路が確保されるような方策を検討されたい。
【対応】 予定箇所の早期完成に向けて関係機関と連携しながら事業を進める。また、工事期間中の児童生徒の安全な通学確保に向け、現況の道路状況を十分に注視しながら方策を講じる。

民生文教常任委員会関係

- 村有施設及び村有不動産の現状を見直し、維持管理費の縮減を図るよう、処分も含めて検討されたい。
【対応】 関係の皆さんと協議をしながら、今後の活用方法等について検討を進めていく。

承認 2件

渇水対策の専決処分を承認

■一般会計補正予算

渇水対策で、農業用水を確保するために、土地改良区や水利組合等が使用した電気料等の経費の補助金。(50万円)

■水道事業会計補正予算

・戸那子バイパス工事(県道飯山野沢温泉線)に伴う給水管布設替で、補償工事として見込んでいたものが、減耗価格は補償にならないことから工事費として計上。
・渇水により水道水が不足しないよう、高社簡易水道を中町配水池へ送水するための導水管仮設配管工事費。

(合計117万8千円)

条例 9件

すべて全会一致で原案可決

- 「特別職の職員で常勤の者等の旅費に関する法律」の一部改正
- 「特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例」の一部改正

■「特別職の職員等の給与の特例に関する条例」の一部改正

■「特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正

■「木島平村特別職報酬審議会条例」の一部改正

■「職員定数条例」の一部改正

■「教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例」の廃止

以上7件は、教育行政に関する法律の改正により、教育長が特別職と定められたことに伴う、関係条例の改正及び廃止。

■「木島平村税条例」の一部改正

所得税法、地方税法等の改正に伴う、村税条例の改正。

■「木島平村地区集会所耐震改修事業分担金徴収条例」の制定

「地区集会所の耐震改修事業」の事業費に対する地区の分担金を定めるため、新たに制定。

補正予算 11件

すべて全会一致で原案可決

※1万円未満四捨五入

■一般会計(第4号)

補正額 2680万5千円追加。

(予算総額 34億8553万円)

■歳入 平成27年度決算の繰越金の増額、国県支出金等の決定に伴う基金からの繰入金調整による減額ほか。

■歳出

・新たな地域おこし協力隊3名 (631万円)

・飯山赤十字病院経営改善のための補助金 (517万円)

・トラクターリース補助 (450万円)

・保育士の増員に伴う賃金ほか (345万円)

・庁舎周辺道路補修 (274万円)

・道路パトロール車更新 (260万円)

・新公会計導入に係る委託料等 (256万円)

・国土調査事業補助金額内示に伴う事業費減 (△2124万円) ほか

■情報通信特別会計(第1号)

補正額 4万円減額。

(予算総額 1億824万円)

前年度までの加入負担金納入分と前年度繰越金の収入分を、一般会計からの繰入金を減額して調整。

■学校給食特別会計(第1号)

補正額 103万7千円追加。

(予算総額 2406万円)

前年度の繰越金を予備費に計上。

■奨学資金貸付事業特別会計

補正額 92万8千円追加。

(予算総額 884万円)

前年度繰越金を一般会計へ繰出し。(財源を一般会計から繰入れているため)

■後期高齢者医療特別会計

補正額 19万2千円追加。

(予算総額 5082万円)

長野県後期高齢者医療広域連合からの還付金を歳入・歳出にそれぞれ計上。

■国民健康保険特別会計(第3号)

補正額 883万6千円追加。

(予算総額 6億6405万円)

■歳入 平成27年度実績による療養給付費等の交付金の増、及び前年度繰越金の増。

■歳出 後期高齢者支援金の減、介護納付金の増、前年度療養給付費等負担金の返還金増。

残額を基金に積み立て。

■介護保険特別会計(第2号)

補正額 975万3千円追加

(予算総額6億2173万円)

歳入 前年度の繰越金。

歳出 繰越金から介護保険支払

準備基金に積み立てほか。

■水道事業会計(第3号)

収益的支出 経営戦略策定業務

委託料 (512万7千円)

ほか

財源 一般会計からの繰入金他、

不足分は建設改良積立金を充当。

■下水道特別会計(第1号)

補正額 721万円追加

(予算総額3億8500万円)

資本的収入 県からの補償金

(101万1千円)

戸那子バイパス工事に伴う給水

管布設替工事

資本的支出 平成27年度償還額

確定による増 (11万8千円)

■農業集落排水事業特別会計(第1号)

補正額 41万6千円追加

(予算総額2129万円)

事件 2件

ともに全会一致で原案可決

■高社簡易水道特別会計(第1号)
補正額 138万4千円追加
(予算総額1464万円)

■平成27年度水道事業会計

未処分利益剰余金の処分

水道事業会計の未処分利益剰余金の処分方法について議会の議決を求めらるもの。

未処分利益剰余金3085万7千

円のうち、1500万円を減債積立

金に、1400万円を建設改良積

立金に積立て、残額を繰越す。

右記3会計は、平成31年度までに整備を義務付けられている「地方公営企業法に適合させるための基本計画策定業務」の委託料と、平成29年度までに完成予定の「経営戦略策定業務」の委託料を、管路の延長で按分し、各会計に計上。財源は、一般会計からの繰入金と前年度繰越金。

■工事変更請負契約の締結

第8(スカイフォー)リフト修繕

工事について、契約後、当初の計画以上の修繕が必要となったことに伴う契約変更。

・契約額 変更前3531万6千円

変更後5141万9千円

・契約の相手方 檜山工業(株)

人事 1件

全会一致で同意

■固定資産評価委員会委員の選任

任期満了に伴う選任について同意を求めらるもの。

・選任者の氏名 大久保哲男氏

請願・陳情 2件

全会一致で原案を可決し

国へ意見書を提出

■国の責任による35人学級推進と

教育予算の増額を求める請願

■義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

常任委員会 審査意見

総務産業常任委員会

○予算可決前にやむを得ず事業に着手する場合は、議会への事前説明を経るなど、財務規則に則り、計画的な事業展開を図られたい。

民生文教常任委員会

○避難行動要支援者名簿の作成にあたり、名簿を随時更新し、円滑な避難支援がなされるよう万全を期されたい。



委員会審査意見を報告する
江田宏子 総務産業常任委員長(左)と
樋口勝豊 民生文教常任委員長(右)

全員協議会

村と議会、及び議員間で協議等をした主な項目は、次のとおりです。

9月1日(木)

【村長提出案件】 (説明及び質疑等)

- ・ 漏水対策について
- ・ 地方創生加速化交付金事業の進捗状況について
- ・ 村税(住民税・固定資産税・国民健康保険税) 徴収方法変更の検討状況について
- ・ 飯山赤十字病院経営改善に向けた支援について
- ・ 木島平スキー場第8リフト(スカイフォー) 握索装置修繕工事の変更請負契約について
- ・ 木島平村観光検討委員会検討結果について

【議員のみ】

- ・ 木島平村議会委員会条例の一部改正について(教育長関連)
- ・ 農産物等物販イベントへの参加について(目的等確認)
- ・ 国内視察研修の内容について(日程等確認)

9月8日(木)

【議員のみ】

- ・ 木島平観光(株)から経営状況の

報告

決算審査特別委員会の審査意見の検討

- ・ 長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会へ提出する村議会からの要望事項について協議

9月16日(金)

【村長提出案件】

- ・ 木島平村固定資産評価審査委員会委員の選任について(説明)

【議員のみ】

- ・ 議会改革検討委員会の検討内容の報告
- ・ 国内視察研修の日程確認等
- ・ 10月の全員協議会の日程調整

議会を傍聴してみませんか

議会開催日に、直接議場(役場2階)においでください。



【27年度決算に対する討論】 土屋喜久夫議員の認定討論(主旨抜粋)

今決算は、「農の拠点事業」の終了により、前年比マイナス12%の規模となっているが、施設完成後の「修繕関連経費」や、飯山市の下水道接続に伴う「国道の舗装復旧経費」など、新たな施設の取得による今後の維持管理費の増大が懸念される。「農の拠点事業」は、木島平農業の救世主ともいえる事業であり、決算審査意見にあるように、村の将来、農業に懸念を残さない事業運営をすべての村民が理解し、協力体制が構築できるよう推進すべきである。

課題である役場庁舎の改築方針が、今議会で示された。公共施設の老朽化など、財政に予断を許さない喫緊の課題でもある。スピード感を持った事業推進をされたい。

決算説明にあった「社会保障にかかわる経費の増加傾向」も顕著であり、この解決はたゆみない行政の継続にある。

国土調査費の県補助金の減額など、単年度のミスが事業の進捗を遅らせる結果となる。日墓村政半期を目前に控え、理事者、職員間の連携は改善されたと思われる。明確な意思疎通が、役場を明るくし、やりがいを持って公務に専念できる。

原理(公共福祉の増大)、原則(遵法精神)、公正を旨とし、さらなる村民に寄り添った村政の進展を期待し、上程された平成27年度木島平村一般会計ほか11会計の決算の認定を支持する。

第3回臨時会

■教育長の任命に対する同意

9月26日の臨時会において、任期満了に伴う新たな教育長の人事案が提案され、全会一致で同意しました。

新教育長の氏名

内堀 幸夫氏

▷次回議会定例会の開催予定

12月定例会 12月1日(木)～16日(金)

▷請願・陳情の受付締切日 11月24日(木)

受付締切日は、議会開会日の1週間前です。直接、早めに議会事務局へご持参いただき、職員へ説明をお願いします。

各議員の一般質問の項目

9月12日・13日、7人の議員が次の課題について質問しました。

【第1日目（9月12日）】

◆萩原 由一 議員

- ①道の駅ファームス木島平の運営について

◆吉川 昭 議員

- ①木島平村空き家等の適正管理に関する条例と対応について
- ②村の防災対策について
- ③役場周辺整備の現在の状況と進め方について

◆勝山 卓 議員

- ①役場庁舎整備方針について
- ②自然災害対策について
- ③河川管理について

◆勝山 正 議員

- ①農の拠点施設管理対応について

【第2日目（9月13日）】

◆土屋 喜久夫 議員

- ①湧水対策について
- ②災害対策は万全か

◆樋口 勝豊 議員

- ①村営バス交通（シャトル便等）の成果と費用対効果、乗車率などを問う

- ②若者住宅について
- ③若者定住について

◆江田 宏子 議員

- ①役場庁舎の検討について
- ②ファームス木島平の指定管理の状況について
- ③イベント等開催に向けた規制緩和について
- ④「木島平の水を学ぶ」事業の取り組みについて

※一般質問の様子は、ふう太ネットの最新のビデオでご覧いただけます。
また、質問・答弁の主旨は、議会だより11月号に掲載いたします。

決算審査特別委員会からの審査意見

- 1 国保税の滞納が多いが、村の徴収金全般の徴収率の向上に向けて更に努力されたい。
- 2 調布市への職員派遣について、効果の検証と必要性を検討されたい。
- 3 村本来の業務に支障が出ないように、社会福協議会及び木島平観光株式会社等への職員派遣は見直しをされたい。
- 4 可燃ごみの処理量が増えている。村の分担金軽減に向け、ゴミ減量化の啓発活動を更に進められたい。
- 5 国民健康保険や介護保険関係費の抑制、及び介護保険制度改正に伴い想定される状況を見据え、健康維持・介護予防推進施策の充実を図られたい。
- 6 新規就農、農業後継者対策の奨励金等は、経営計画や就農後の状況などを複数年、把握・検証し、自立に向けての必要な指導やサポートをされたい。
- 7 有機センターについては、原材料の搬入量、堆肥利用の状況を鑑みながら、将来を見据えたあり方を検討されたい。
- 8 住宅リフォーム補助は経済効果があった。今後も継続的な実施を検討されたい。
- 9 将来的に大きな財政負担が想定される「ライフライン等の維持補修に係る支出」の財源確保のためにも、農村交流館の宿泊施設や郷の家等、村民益や費用対効果等を早期に検証し、廃止も視野に入れたあり方や方針を検討されたい。
- 10 道の駅ファームス木島平については、農業振興に資する施設となるよう、実態を把握し、指定管理者へ必要な指導をされたい。
- 11 地域公共交通については、費用対効果を考え、抜本的な見直しも検討されたい。